

# 場のデザイン部門 - 提案趣旨説明書

〈作品タイトル〉 Up Cycle Park!

## 〈提案の趣旨〉

コンセプトを「**営みを巻き込みながら加速していく、重ね合わせの場づくり**」としました。

### 〈コンセプト設定の理由〉

対象地は、JR 駅と新幹線駅とを結ぶ駅前広場に位置しています。今後、多目的交流拠点ができた際の動線が接することもあり、**シンボル空間**としての役割が大きくなります。そこで、右の3点が特に重要な視点です。ここで、三河安城らしさとして**ものづくり**と**農業**を挙げ、コアプログラムを考えます。

**URBAN** 自由度の高さを活かす空間

**GREEN** 緑豊かで居心地の良い高質な空間

**FAB** 三河安城らしさを感じられる空間



### 〈空間の考え方〉

ランドスケープ+コンテナ建築+ファニチャーを分けて空間を構成することで、①将来の空間ニーズへの対応、②事業スキームの確立、③スピード感のある整備、の3点が実現可能になります。土台となる部分に時間とお金をかけて不可逆に整備してきた従前の方法ではなく、土台は極力シンプルで迅速に整備し、その上に多くのアイデアを出し合いながら、可逆的・可変的に場を作っていきます。

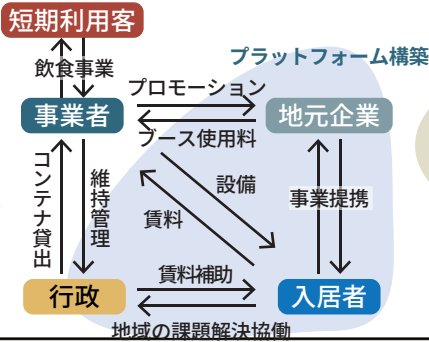
〈URBANエリアの様子〉



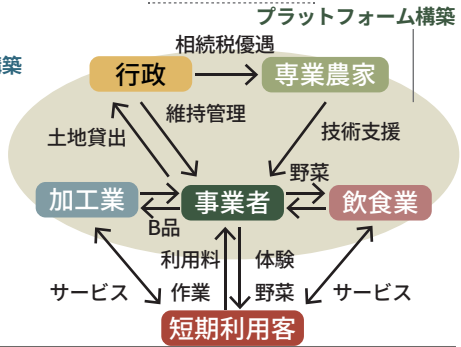
〈FABエリアの様子〉



### スタートアップ拠点



### 市民農園



## 平面図 | 1:500

